

日本河川・流域再生ネットワーク <http://www.a-rr.net/jp/>  <https://www.facebook.com/JapanRRN>

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。（Since 2006）

目次

Pages

- JRRN 事務局からのお知らせ..... 1
- JRRN 会員寄稿記事..... 7
- 会議・イベント案内 & 冊子等の紹介..... 9

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

小さな自然再生普及促進プロジェクトー 今秋に開催する「小さな自然再生」現地研修会のご案内

今年度開催する 3 回の「小さな自然再生」現地研修会の開催地及び開催日が確定し、10 月に静岡県内にて連続開催する現地研修会は参加者申込を現在受付中です。

福井県での研修会もまもなく参加者募集を開始予定。今年度もたくさんの方々のご参加をお待ちしております。

（JRRN 事務局・和田彰／白尾豪宏／佐藤充人）

参加受付中

第 28 回「小さな自然再生」現地研修会 in 静岡県富士宮市・芝川

◆開催： 2025 年 10 月 21 日（火） 10:00～17:00 ※7/17 延期開催

◆場所： 静岡県富士宮市下柚野 165 <ホールアース自然学校 富士山本校>

◆共催： NPO 法人ホールアース自然学校、「小さな自然再生」研究会、JRRN

富士山の湧水を起源とする清流・芝川をフィールドに、小さな自然再生活動を通じた水辺の生態系保全と共に、その活動の中に見い出せるさまざまな環境教育プログラムを試行します。垣根を超えたさまざまな分野の皆さんと共に、知恵やアイデアを出し合いながら、「芝川のためにできること・芝川でできること」を考えたいと思います。



参加受付中

第 29 回「小さな自然再生」現地研修会 in 静岡県静岡市清水区・庵原川

◆開催： 2025 年 10 月 5 日（日） 9:00～16:30

◆場所： 庵原川河口一葉橋（静岡市清水区横砂南地内）及び横砂自治会館

◆共催： いはらの川再生 PJ 会、「小さな自然再生」研究会、JRRN

石倉かごを護岸材料に二ホンウナギ等の生育環境保全活動を始めて約 10 年。参加した多くの子ども達が巣立っていきました。これからも継続して子ども達や若い力、市民、行政、企業等を巻き込み、更なる流域展開や他の河川への横展開を図ることを目標に、参加者みんなで石倉かご調査を体験し、実施に向けたアイデアを出し合います。



企画調整中

第 30 回「小さな自然再生」現地研修会 in 福井県若狭町・はす川等

◆開催： 2025 年 11 月 3 日（月・祝） 9:30～16:30

◆場所： 福井県若狭町・はす川 & 串小川

◆共催： 三方五湖自然再生協議会、「小さな自然再生」研究会、JRRN

三方五湖自然再生協議会（自然護岸再生部会）では、はす川等の三方五湖周辺河川での自然再生に向けて、小さな自然再生を活用した多様な水辺環境の創出や、サケやアユをはじめとする魚類の遡上環境の改善などを打ち出しています。研修会では、はす川流域において地域で小さな自然再生を進めていくためのアイデアやヒントを学び合います。



第28回

静岡県富士宮市・芝川

参加者
募集

「小さな自然再生」現地研修会

～「環境教育プログラムとしての小さな自然再生」
を体験してみよう！～

開催日

令和7年10月21日 火

※本研修会は7/17(木)悪天候中止に伴う延期開催行事です。

【開催趣旨】 富士山の湧水を起源とする清流・芝川。今もその豊かさが残る一方で、いきもののすみかの喪失や市民の川に親しむ機会の減少といった課題が見えてきています。今回の研修会では、小さな自然再生活動を通じた水辺の生態系保全と共に、その活動の中に見い出せるさまざまな環境教育プログラムを試行します。垣根を超えたさまざまな分野の皆さんと共に、知恵やアイデアを出し合いながら、「芝川のためにできること・芝川でできること」を考えたいと思います。

開催日時 令和7年10月21日(火) 10:00～17:00 (9:30～受付開始)

会場 静岡県富士宮市下柚野165 <座学：ホールアース自然学校 富士山本校 / 現地：芝川>

対象 芝川での保全活動や体験活動に興味・関心のある方々 (※未経験者でもOKです)

定員 30名(先着順)

参加費 無料

持ち物 胴長靴もしくは長靴、作業用手袋、昼食

プログラム ※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。
※主催者側で行事保険に加入いたします。

★分野が異なる方々も大歓迎です！様々な立場の方で集まり、芝川の今後の可能性を考えましょう♪

※参加申込方法、会場へのアクセス、
問合せは裏面をご覧ください。

(10:00～10:50) 座学研修 @森の家 講義室

- 芝川における自然体験活動の紹介と今後の展望 (松尾 章史：NPO法人ホールアース自然学校)
- 芝川の魚類や水生昆虫のプラスティネーション標本づくり (三橋 弘宗：兵庫県立人と自然の博物館・ひとはく)

(11:00～16:00) 小さな自然再生と水辺の環境教育の実践 @芝川

- バープエで寄り洲づくり、魚の隠れ家づくり実践・解説
- 環境教育プログラム実験

寄り洲があると水が綺麗になる ～ 川の砂を使つたろ過実験 ～

水生昆虫を餌にして、生分解資材だけでフィッシング (竿もテグスも針も生分解資材)

■現地技術指導：三橋弘宗(同上)、白尾 豪宏(公益財団法人リバーフロント研究所)

※途中で、昼食・休憩・交流・移動の時間を設けます

(16:30～17:00) 本日のプログラムの振り返り @森の家 講義室

(17:00) 閉会



河川
基金

公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

主催：NPO法人ホールアース自然学校、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

協力：芝川で小さな自然再生を楽しむ有志の会、公益財団法人リバーフロント研究所

会場のご案内

研修会場

ホールアース自然学校
富士山本校（森の家 講義室）

〒419-0305 静岡県富士宮市下柚野165



※研修会場へは **お車** または **鉄道** でお越し下さい。
（JR富士宮駅より研修会場まで車送迎あり。※要事前申込）

※鉄道を利用してお越しになる方へ

**JR身延線「富士宮駅」より研修会場への送迎を希望する方は、
申込時に「送迎希望」を選択の上、以下の場所・時刻に集合し
てください。（※人数に限りがある旨、予めご了承下さい。）**

- 集合場所： JR身延線 富士宮駅 南口ロータリー付近
- 集合時刻： 9：00



申込み方法

必要事項（氏名・所属・連絡先等）を明記の上、E-mailでお申込み下さい。

申込〆切日：令和7年10月15日（水） 17:00

E-mail：info@a-rr.net

項目	記入欄	
(ふりがな) 氏 名		
所 属		
連絡先	〒	
	住所：	
	電話：	
	Email：	
送迎希望 (JR富士宮駅)	あり	なし

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局（担当：和田彰・佐藤充人）

〒104-0033 東京都中央区新川1-17-24 NMF茅場町ビル7階（公財）リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3861 Fax: 03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

Website: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>



第29回

静岡県静岡市清水区・庵原川

「小さな自然再生」現地研修会

参加者
募集

～ 石倉カゴでつながる地域連携による多自然鰻川づくり～

開催日

令和7年10月5日(日)

【開催趣旨】 石倉かごを護岸材料にニホンウナギ等の生育環境保全活動始めて約10年。参加した多くの子ども達が巣立っていました。これからも継続して子ども達や若い力、市民、行政、企業等を巻き込み、更なる流域展開や他の河川への横展開を図ることを目標に、参加者みんなで石倉かご調査を体験し、実施に向けたアイデアを出し合います。

開催日時 令和7年10月5日(日) 9:00～16:30 (8:30～受付開始)

会場 静岡県静岡市清水区横砂本町 <座学：横砂自治会館 / 現地：庵原川河口一葉橋>

対象 庵原（いはら）川での小さな自然再生に興味・関心のある方々 ※年齢：中学生以上

定員 50名(先着順)

参加費 無料

※参加申込方法、会場へのアクセス、
問合せは裏面をご覧ください。

持ち物 胴長靴又は濡れてもいい服装、作業用手袋、昼食 (弁当を事前注文可能 ※裏面参照)

プログラム ※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。
※主催者側で行事保険に加入いたします。

(9:00～9:20) 開会 及び プログラム説明 @横砂自治会館

- 開会挨拶 (伏見直基：いはらの川再生PJ会 代表)
- 本日のプログラム説明 (和田彰：公益財団法人リバーフロント研究所)

(9:20-12:30) 小さな自然再生の実践 @庵原川河口一葉橋 ※干潮時刻10:00

石倉モニタリング調査及び石倉カゴの設置作業に参加し、ウナギなど庵原川の生物の生息・生育の場づくりを学びます。

■現地指導講師：いはらの川再生PJ会 会員、白尾豪宏（公益財団法人 リバーフロント研究所）

(12:30～13:30) 昼食 @横砂自治会館

(13:30～16:30) 庵原（いはら）川でできる小さな自然再生を考える座学研修 @横砂自治会館

- 庵原川での石倉カゴ設置などニホンウナギの生育環境保全活動の取組紹介 (伏見直樹：いはらの川再生PJ会)
- 小さな自然再生の方法と効果-今までの研究から分かった幾つかのこと- (萱場祐一：名古屋工業大学社会工学科環境都市分野)
- 市民主導の川づくりが生み出す地域創造 (坂本貴啓：金沢大学人間社会研究域地域創造学系)
- 庵原川でできることを考える (意見交換会)

(16:30) 閉会



公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。



ホームページ QRコード

主催：いはらの川再生PJ会、「小さな自然再生」研究会、日本河川・流域再生ネットワーク

協力：静岡県静岡土木事務所、東海大学海洋学部水棲環境研究会、横砂自治会、
静岡市環境局環境共生課、公益財団法人リバーフロント研究所

会場のご案内

研修会場 横砂自治会館

〒424-0033 静岡県静岡市清水区横砂本町26-18



※研修会場へは **公共交通機関** または **お車** でお越し下さい。

※公共交通機関（バス）を利用してお越しになる方へ
J R清水駅よりバス（しずてつジャストライン・三保山の手線 但沼車庫前行）に乗りし『横砂停留所』で下車。
バス停より徒歩 片道240円
（往路）●清水駅 8:10発→横砂 8:18着
（復路）●横砂 17:23発→清水駅 17:34着

申込み方法

必要事項（氏名・所属・連絡先等）を明記の上、E-mailでお申込み下さい。

申込〆切日：令和7年10月1日（水） 17:00



項目	記入欄
(ふりがな) 氏 名	
所 属	
連絡先	〒
	住所：
	電話：
	Email：
弁当注文 1000円(税込)	注文の有無 「地元大松園さんの焼き鳥弁当」 限定50個 ※当日お支払下さい
	あり なし



E-Mail QRコード

※記入された個人情報は、厳重に管理した上で、JRRNが主催する行事等のご案内に利用させて頂く場合がございますので、ご了承願います。



JRRN 事務局からのお知らせ (2) JRRN Activity Report

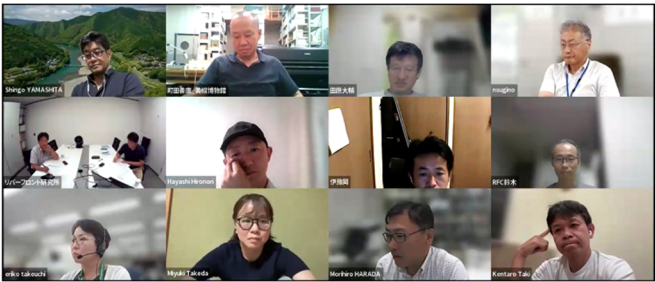
小さな自然再生普及促進プロジェクト『小さな自然再生サミット 2025 京都大会』開催案内

2019 年 1 月の神戸大会に続く 2 回目の開催となる『小さな自然再生サミット 2025 京都大会』を 12 月 7 日 (日) に京都にて開催します。また、前日 12 月 6 日 (土) の午後には、小さな自然再生の現場を巡るオプションツアー、また夜には懇親会を予定しております。

＜小さな自然再生サミット 2025 京都大会＞

- 開催日： 2025 年 12 月 7 日 (日) 10:00～17:00
- 開催場所： 京都大学宇治キャンパス
- 主催：「小さな自然再生サミット 2025 京都大会」実行委員会
- プログラム (予定)
 - 午前： 全国事例発表
 - 午後： 全体討論 (次の一手は?)
 - 16:00～17:00：茶話会 (17:00：閉会)

小さな自然再生サミットの開催に向け、実行委員会を設立し、キックオフとなる第 1 回実行委員会を 8 月 7 日 (木) にオンライン形式で開催し、当日プログラム、前日サイドイベント、協賛、次の一手 (サミット論点)、今後の予定等について議論を深めました。



第 1 回実行委員会の様子

サミットの前半プログラムでは、全国で小さな自然再生に取り組む方々より 3 分～5 分程度 (発表者数で時間を決定) で活動をご紹介頂く予定です。

9 月中を目標に、事例発表者の募集や参加者受付を開始する予定ですので、たくさんの方々からの事例発表へのご応募をお待ちしております！

----- <今後の予定> -----

- ・ 9 月：サミット開催案内告知、事例発表者の募集開始、サミット参加者の申込受付開始
- ・ 10 月：第 2 回サミット実行委員会会議開催
- ・ 12/7 (日)：小さな自然再生サミット開催@京都

(JRRN 事務局・和田彰)

「小さな自然再生サミット 2025 京都大会」実行委員会

■実行委員長： 中村 太士 (北海道大学大学院農学研究院 名誉教授)

■実行委員： (五十音順)

氏 名	所 属
今井 洋太	神戸市立工業高等専門学校
伊豫岡 宏樹	九州産業大学建築都市工学部
佐藤 祐一	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
杉野 伸義	KANSOテクノス
瀧 健太郎	滋賀県立大学環境科学部湖沼流域管理研究センター
竹内 えり子	建設技術研究所
武田 みゆき	日本環境NPOネットワーク
田原 大輔	福井県立大学海洋生物資源学部
林 博徳	九州大学工学研究院環境社会部門
原田 守啓	岐阜大学 高等研究院環境社会共生体研究センター
町田 善康	美幌博物館
三橋 弘宗	兵庫県立人と自然の博物館
山下 慎吾	環境省自然環境局生物多様性センター

■事務局： 佐藤 充人、白尾 豪宏、鈴木 敏弘、和田 彰 (公益財団法人リバーフロント研究所)

8月



新潟観光ナビより



あの日のあの川 リレー日記 ～第81話～



あの日のあの川
リレーDiary

みなさんはどの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

第81話主人公 亀谷礁冴

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川（直）研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：千葉県利根川)

「川からするのは冒険の香り」

いつのこと？： 小学校中高学年

どの川？： 新潟県関川

こんにちは。遠藤君からバトンを受け取りました、白川研究室所属の亀谷です。「あの日のあの川リレー日記」ということで、「日記」にも書いたことのある思い出に残っている川のお話をさせていただこうと思います。

私がこの文章を書いているのは8月で、暑さもピークを迎える時期なのですが、小学生の時のこの時期は親戚家族と集まって少し長めの家族旅行に行くのが恒例行事でした。旅行先は毎年変わるのですが、一時期何年か続けて行ったのが新潟県妙高市、関川に近い場所でした。私の家族は結構アクティブでして、旅行に行くと川に入る、山に登る、海に行くなどと結構ワイルドな計画ばかりだったのを今でも思い出します。

妙高での楽しみの一つが、川遊び。近くを流れる「関川」へ足を運び、網で生き物をとったり、川に石を投げたり、川に入ったり。ただの自然一つで、当時は一生遊べると思えるくらいに楽しんだものです。

関川には、日本の滝百選にもなっている「苗名滝（なえなたき）」があります。近くの駐車場に車を止めて、川沿いに山を抜けると現れるその滝は、荘厳で美しく、神秘的。先にも書いたとおり、何年か続けていった妙高でしたが、行くたびにその滝を目指して冒険を繰り返したのを覚えています。

滝にたどり着くまでの道中も小学生だった当時の私にはワクワクの連続。おかしな形の木を見つけたり、キノコを探しながら歩いたり。ある年には川岸に何かの動物の骨が流れ着いているのを見つけたりもしました。しかも結構大きな背骨の部分。小学生というのは恐ろしいもので、当時の私はその骨を素手で拾い上げて「何の動物だろう？」と観察していました。衛生面などを考えると絶対にまねしてはいけませんね。

滝が見えてくるところには木々が生い茂った周囲もかなり開けてきます。足元も木の根と土だったのが大きな岩がゴロゴロとしたまさに「川の上流」といった具合になります。苗名滝はかなり滝つぼに近い所まで近づけるのですが、それが小学生の冒険心に火をつけます。大きな岩の上を飛び移り、限界まで滝に近付き、その大自然の迫力を間近で感じました。滝の見た目の迫力をさることながら、よりすごいのはその音。隣にいる人の声がまるで聞こえません。水しぶきもすさまじく、川に入っていないというのに服がびしょ濡れになるほどでした。録画を回していたビデオカメラが壊れて動かなくなるほどに。

近年の夏はとても暑いので、皆さんも川に赴きその清涼感に身を投じてみてはいかがでしょうか。当時の私のように童心に帰り大自然を冒険するのもいいかもしれません。川の冒険は危険も多いですが、その危険性をしっかりと知っておけば楽しい思い出になること間違いなしです。これを機に私もまた苗名滝へ冒険に出かけようと思います。

（次は菊池恭士朗さんにバトンを託します）

会議・イベント案内 (2025 年 8 月以降) Event Information

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■ネイチャーポジティブ フォーラム ～サントリー 天然水の森～

○日時：2025 年 8 月 25 日 (月) 13:00～16:30

○主催：サントリーホールディングス (株)

○場所：オンライン形式

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3636.html>

■応用生態工学会 第 28 回 新潟大会 公開シンポジウム

○日時：2025 年 9 月 13 日 (土) 14:00～17:00

○主催：応用生態工学会 第 28 回新潟大会 実行委員会

○場所：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター (新潟県新潟市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3650.html>

■第 33 回 リバーフロント研究所研究発表会

○日時：2025 年 9 月 26 日 (金) 13:00～17:25

○主催：(公財) リバーフロント研究所

○場所：東京ウィメンズプラザ (東京都渋谷区)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/4407.html>

■第 29 回「小さな自然再生」現地研修会 in 静岡県・庵原川

○日時：2025 年 10 月 5 日 (日) 9:00～16:30

○主催：いはらの川再生 PJ 会、JRRN 他

○場所：静岡県静岡市清水区横砂本町

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1547.html>

■第 28 回「小さな自然再生」現地研修会 in 静岡県・芝川

○日時：2025 年 10 月 21 日 (火) 10:00～17:00

○主催：NPO 法人ホールアース自然学校、JRRN 他

○場所：ホールアース自然学校 富士山本校 (静岡県富士宮市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/1552.html>

■第 29 回水シンポジウム 2025 in やまなし

○日時：2025 年 10 月 24 日 (金) ～25 日 (土)

○主催：「第 29 回水シンポジウム 2025 in やまなし」実行委員会

○場所：リッチダイヤモンド総合市民会館 (山梨県甲府市)

<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/3639.html>

冊子等の紹介 Publications

■ はじめての魚の居場所づくり vol.2



この冊子は、小さな自然再生のハンドブックとして、魚にとって大切な場所について理解し、魚の居場所づくりに取り組む際のヒントを分かりやすくとりまとめたものです。

全国の水辺の小さな自然再生の担い手の皆様にとって更なる意欲と活力につながり、地域に根差した川づくりの更なる推進に寄与すれば幸いです。

→ダウンロードページはこちらから

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/375>

●制作：

滋賀県立大学大学院

(泉野珠穂・安田希亜良・瀧健太郎)

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)

●発行：

滋賀県流域政策局、

滋賀県立大学大学院流域政策・計画学研究室

公益財団法人リバーフロント研究所

●発行年月：2024 年 8 月

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 NMF 茅場町ビル 7 階 (公財) リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3861 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>